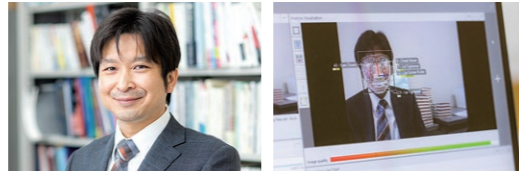


研究紹介

政治家の表情から読み取るコミュニケーション術 木下 健 准教授

人は何を伝えたいかや、どう思われたいかによって表情を変えています。それが顕著なのが政治家です。そのコミュニケーション術を分析するため、表情解析ソフトウェア「フェイスリーダー」を用いて、政治家が話している映像から言葉と表情の関係を明らかにする研究を行っています。表情は相手の気持ちの有力な手がかりなので、それを読み取ることはビジネスの交渉や地域のコミュニティづくりなどで活かせる、重要なコミュニケーションスキルになります。



海外研修プログラム<ECO-STEP>

社会環境学部独自の海外研修プログラム<ECO-STEP>は、2019年度からスタート。シンガポールを訪問し、環境施設の見学や優れた環境管理の体験、現地の人々との交流を通じた異文化理解など、英語コミュニケーション体験を通じて社会環境学部の学びを深めるプログラムです。



※2021、2022年度はオンラインで実施。

社会環境学部の入試日程

入試種別		募集人数	出願期間	試験日	選考方法	合格発表	手続き締め切り日	
総合型選抜	スペシャルスキル選抜(有資格)	若干名	9/20(火)~9/27(火)	10/15(土)	小論文・面接	11/1(火)	12/9(金)	
	専願制総合型選抜(後期)		2/24(金)~3/3(金)	3/10(金)	面接	3/18(土)	3/24(金)	
学校推薦型選抜(併願制)		15名	11/1(火)~11/6(日)	11/12(土)	小論文・作文・面接	12/1(木)	12/9(金)	
一般選抜	共通テスト利用	前期	25名	1/6(金)~1/18(水)	大学入学共通テスト	2/13(月)	2/17(金)	
		中期	10名	1/6(金)~2/3(金)		2/24(金)	3/9(木)	
		後期	3名	2/8(水)~2/27(月)		3/9(木)	3/15(水)	
	3教科型選抜		45名	1/6(金)~1/26(木)	2/10(金)	個別学力試験 ^{※2}	2/24(金)	3/3(金)
	共通テスト併用型 ^{※1}		15名	1/6(金)~1/26(木)	2/10(金)	3教科型選抜と大学入学共通テストの成績 ^{※2}	2/24(金)	3/3(金)

※1 3教科型選抜の受験が必須 ※2 受験科目の詳細については、学校HPよりご確認ください。

就職実績

きめ細かな就職サポートで、質の高い就職を実現しています。

就職先一覧 過去3年間の主な実績

東亜道路工業、福岡トヨタ自動車、ESRIジャパン、十八親和銀行、翔薬、英和、第一生命保険、コカ・コーラボトラーズジャパンベンディング、不二精機、九電産業、中国電力、東日本旅客鉄道、キヤノン、伊藤園、九州電力、アイ・ケイ・ケイホールディングス、積水ハウス、福岡銀行、大和ハウス工業、福岡県庁 など
※順不同 ※法人名称はすべて省略 ※企業名は採用時のものです。

全卒業生数 **165**人
就職希望者数 **153**人
就職者数 **153**人
大学院進学者数 **1**人

就職率 **100%**

(2022年3月卒業生実績)

 採用を増やしたい大学 日経キャリアマガジン特別編集 【価値ある大学2021年版】日経HR	 就職支援に熱心に取り組んでいる大学 日経キャリアマガジン特別編集 【価値ある大学2021年版】日経HR	 面倒見が良い大学 大学探し ランキングブック2022	 小規模だが評価できる大学 大学探し ランキングブック2022	 入学後、生徒を伸ばしてくれる大学 大学探し ランキングブック2022
--	---	--------------------------------------	--	--

FIT Fukuoka Institute of Technology
福岡工業大学

〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1
入試課 TEL:092-606-0634(直)



受験生サイト



社会環境学部
オリジナルサイト



社会環境学部
Instagram

※デバイスによっては読み取れない場合があります。

越えていく 文系

課題が多様化し、先を予測しにくい現代。
まちや暮らしをよくしていくためには、社会環境という
土台の新たなあり方を模索していかなければなりません。
そこで必要とされるのが、幅広い知識や発想力、
テクノロジー理解、情報収集力などです。
工業系大学の文系学部という
「領域を越えていく」多角的な学びは、社会の大きな力に、
キミのかけがえのない力になっていきます。

つぎの社会づくりは、ここから。

福岡工業大学
社会環境学部
社会環境学科

越えていく文系だから、できること。

課題が多様化・複雑化する現代、2030年までに達成すべき具体的な目標SDGsには、17の目標が掲げられています。この考えは、いまや多くの企業や地域で取り入れられ、経営やまちづくりなど社会環境を考えるにあたって重要な視点です。いま世の中で必要とされる力を育むために、社会環境学部は多様な課題解決に目を向けた教育を行っています。

持続可能な地球環境を「まもる」

環境負荷を減らし、限りある資源や地球環境を維持していくための課題に向き合う研究



海や川の生態系の保全と活用
[水圏環境生態学/乾 隆帝 教授]

**環境ラベルの可能性
—環境配慮の「見える化」**
[環境学/渡邊 智明 教授]

**データから見る
人々の環境意識**
[社会学/陳 艶艶 准教授]

政治家の言葉と心理
[政治学/木下 健 准教授]

**SDGs企業行動指針と
環境会計との整合**
[会計学/李文忠 教授]

**知財・情報法と
持続可能なサプライチェーン**
[法学/橋 雄介 助教]

持続可能な社会を「測る」

社会や人々の行動・つながりに関する数字・データとそれを支える制度の研究



**衛星データを利活用する
新たな国際法の探求**
[国際法学/中川 智治 教授]

多様化する家族と国際私法
[国際私法、国際取引法/片岡 雅世 助教]

**グローバルな
資源リサイクル**
[国際貿易論/藤井 洋次 教授]

持続可能なまちを「つくる」

人々の快適で住みやすい社会をつくる上で考慮すべき課題に向き合う研究



**自然水害に対する
住民の避難シミュレーション**
[流域環境学/森山 聡之 教授]

**避難促進のための防災GO![®]
プロトタイプの開発**
[流域環境学/森山 聡之 教授]
[地理学/上杉 昌也 准教授]

**都市における
居住環境の評価**
[地理学/上杉 昌也 准教授]

**住民と行政の協働と
地域文化によるまちづくり**
[民俗学/田中 久美子 准教授]

**持続可能な
医療サービスの提供を
目指した病院経営**
[経営学/松藤 賢二郎 教授]

**企業で技術開発に
携わる人の特性**
[経営学/伊 諒重 教授]

持続可能な企業・産業に「変える」

企業や産業を経済発展と福祉が両立できるように変えていく方法を考える研究



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS × FIT 社会環境学部

社会環境学部では、「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けて、社会課題の解決を目指す様々な研究を進めています。



先輩の声

社会づくりの可能性と難しさを自分ごと化できたのが、将来の財産。

地域活動やフィールドワークに興味があり、入学しました。楽しみにしていたフィールドワークの授業では、福岡県の篠栗町・鳴瀬ダム周辺の利活用について考えました。現地調査しながら課題を見つけ、アイデアを実現できるまでにまとめ、役場や観光協会の方にに向けたプレゼンテーションを実施。形にする力を身につけられたと思います。ゼミではGIS*をハザードマップや防犯マップに活かす研究に取り組み、「防災GO![®]」というアプリの開発、コンテンツの企画・実装に携わりました。社会連携室をはじめとして学習サポートが心強く、いろいろなことに挑戦できたなと実感します。将来は、地元の暮らしを支える仕事、地元活性化のイベント等の企画・運営に携わりたいです。



社会環境学科
地域コース 4年生
久富 唯人さん
(福岡県立嘉穂高等学校 出身)

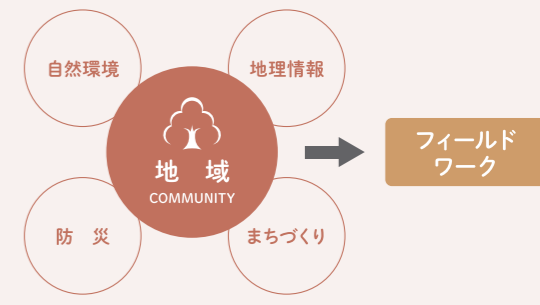
*GIS(地理情報システム)は、地理的位置を手がかりに、位置に関する情報を持ったデータを総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術。

越えていく文系の、生きた学び。

地域創生や社会課題解決のための思考や知識、経験を深めるための、2つのコースを用意。社会環境学科の既存の枠を越えた生きた学びは、サステナブルな社会づくりが求められる未来において、特定の業界だけでなく、幅広い分野で必要とされる力となっていきます。また、少人数制で教員との距離も近く、学生一人ひとりが積極的に学べる環境です。

地域コース

現代社会の地域活動に関連するスキルを総合的に学ぶコースです。地域に関する政策や教育、環境保全や経済活動、防災、組織の役割など社会環境の知識と、フィールドワークや地理情報システムなどを組み合わせて学びます。



枠を越えた学び「フィールドワーク」

教室という狭い空間を越えて「地域」を深く理解できる、実践的なカリキュラムです。社会学、防災情報学、GIS、生態学、政策学などの分野にわたります。



社会からの期待の声

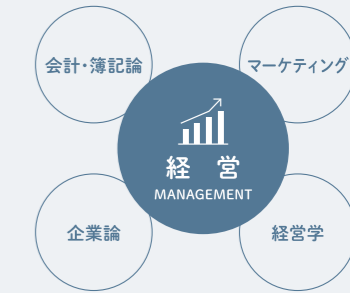
鳴瀬ダム周辺の利活用のフィールドワークで学生のみなさんと一緒にしました。固定概念にとられない自由な発想で、報告会を重ねるごとにどんどん実現性がブラッシュアップされていき、みなさんのパワーを実感しました。机上を越えたりアルな学びこそ、自分の身になり、社会で活かせる力になっていくのだと思います。遊休地や里山の保全・活用は多くの地域の課題であり可能性でもあります。ここで学んだことが必要とされる機会は本当に多いですね。



篠栗町観光協会 副会長
ウエル総合企画 代表取締役
井上 泰寿さん

経営コース

現代社会の経営活動に求められるビジネススキルを総合的に学ぶコースです。戦略策定や組織統制、マーケティング、組織の財務・経理、社会的責任や法制度などを、社会環境の知識をベースに学びます。経営・ビジネスの役割をゲームを通して体感しながら学ぶ、ビジネスゲームなど多様な学びも特徴です。



社会からの期待の声

領域を越えた学びの重要性「経営・ビジネス×社会環境」

私は法人のお客様に向けたSDGs活動支援やコンサルティングを担っていますが、企業からのご相談は増加の一途です。企業では、自社のビジネスを進めること自体が社会課題解決に繋がるという意識が浸透してきています。今後は、売上や利益といった財務目標に加え、SDGs達成に向けたターゲットを掲げる動きが加速するでしょう。更に経営には、E(環境)S(社会)G(ガバナンス)の3つの視点が必要だという考え方が広まっており、環境と経営に関する知識を持った人材はどの業種においても求められているため、このコースでの学びは、ビジネスの幅広いシーンで活かされると思います。



福岡銀行 産業金融部
サステナビリティ推進グループ
青木 美誉子さん